



経営問答!

第17回 SBIグループ代表 北尾吉孝の

きたお・よしたか 1951年生まれ、兵庫県出身。74年慶応大学経済学部を卒業し野村証券入社。78年英ケンブリッジ大学経済学部卒業。95年ソフトバンクに転じ同社の財務戦略を一手に引き受ける。99年ソフトバンク・ファイナンス社長に就任。その後SBIホールディングスを設立し社長に就任した。

講演を元厚労省の村木厚子さん（現内閣府共生政策担当統括官）や、J300の篠原欣子さん（社長の奥さん）が、内容も盛り込まれた。参加者の中には「私も頑張らなくちゃ」と思えるようなものにしていただきまして。J300はセミナーとパーティーの二部構成になっているのですが、実は今年手違いがあつて、パーティーではコミュニケーション不足で食事が少なく、さらに飲み物の一部が納品されませんでした。セミナーは無料です。女性は男性より、そういうところは厳しいです。アンケートを取っても、食事について叱りを受けました。でもセミナー

女性社長の長所・弱点
北尾 女性社長、netの会員からは会費を集めているんです。横田 ええ。無料の会員さんもいますが、コミュニケーションが相互に

横田 けっこう大変です。これは去年の参加者のデータですが、子供のいる方が四割も占めています。会社だけでなく家庭の仕事もしなければならぬ。それだけ忙しい中、来ていただくのだから、できるだけの身の濃いものにしなければなりません。

講演を元厚労省の村木厚子さん（現内閣府共生政策担当統括官）や、J300の篠原欣子さん（社長の奥さん）が、内容も盛り込まれた。参加者の中には「私も頑張らなくちゃ」と思えるようなものにしていただきまして。J300はセミナーとパーティーの二部構成になっているのですが、実は今年手違いがあつて、パーティーではコミュニケーション不足で食事が少なく、さらに飲み物の一部が納品されませんでした。セミナーは無料です。女性は男性より、そういうところは厳しいです。アンケートを取っても、食事について叱りを受けました。でもセミナー

女性社長の長所・弱点
北尾 女性社長、netの会員からは会費を集めているんです。横田 ええ。無料の会員さんもいますが、コミュニケーションが相互に

とれる会員は有料で、年間三万円からとなっています。女性社長、net以外にも、女性経営者をつなぐネットワークはいくつもあり、中には会費無料で運営されているところもあります。でもそういうやりかただと、ややもすると責任の所在があやふやになってしまいます。責任をもつてマネジメントするには、やはり会費を取るべきだと考えました。

女性社長300人の大集会
北尾 横田さんは女性社長のネットワークを構築しているようですが、日本には女性社長はどのくらいいるんですか。
横田 帝国データバンクの調査によ

とです。男性には難しい仕事を与えられ、そこで鍛えられる。その差が後になって出でしまうのかなとは思いますが、もっとも私の場合はリクルートに入社して、その後、営業・新規事業立ち上げ、事業企画を経験し退社。2006年コラボラボを設立。「女性社長.net」を運営し、女性社長の支援を続けている。女性社長300人を集めるイベント「J300」は、今年で3回目を迎えた。先日、著書「女性社長が日本を救う！」(マガジンハウス)が出たばかり。

女性社長のネットワークで「日本社会を元気にする」
北尾 女性社長の会社というのは小さいところが多いでしょう。
横田 女性社長、netには一三〇〇人の会員がいますけれど、平均すると社員数は七人を切りますね。

とれる会員は有料で、年間三万円からとなっています。女性社長、net以外にも、女性経営者をつなぐネットワークはいくつもあり、中には会費無料で運営されているところもあります。でもそういうやりかただと、ややもすると責任の所在があやふやになってしまいます。責任をもつてマネジメントするには、やはり会費を取るべきだと考えました。



コラボラボ社長 横田響子

よこた・きょうこ 1976年京シドニー生まれ。4歳で帰国し高校までを大阪で過ごす。99年お茶の水女子大学文教育学部を卒業しリクルート入社。6年間人材部門を中心に営業・新規事業立ち上げ、事業企画を経験し退社。2006年コラボラボを設立。「女性社長.net」を運営し、女性社長の支援を続けている。女性社長300人を集めるイベント「J300」は、今年で3回目を迎えた。先日、著書「女性社長が日本を救う！」(マガジンハウス)が出たばかり。

女性社長のネットワークで「日本社会を元気にする」

の会社が男と女で仕事の中身を変えています。
北尾 SBIグループの場合は、まったく男女による差別はしませんね。グループ会社の中にも女性社長は二人います。最近の女性社長は優秀だし勉強熱心です。今後まだまだ増えていくでしょうね。
横田 二年前からは、「J300」という、女性社長だけを三〇〇人集めたイベントも始めています。二〇〇九年の第一回はリーマン・ショックから半年後でしたので、「女性社長三〇〇人が不況を吹っ飛ばす！」をテーマとしましたし、昨年は「女性社長が世界を元気にする」、そして六月一日に開催した今年が「女性社長三〇〇人のSTORY」をつむぐつながる・つくりだす」でした。テーマを見てもわかるとおり、今年はいままで以上に女性社長同士のコラボレーションを重視したものと取りました。

キャリアを積まず、準備期間も短く、人脈もそれほど持っていない状況でスタートする起業家が多いということとです。世の中そんなに甘くはないですから、どうやって会社を経営していくかわからなくて廃業するケースも多い。

その一方で、経験も何もなくとも、もよっとしたアイデアで気軽に起業できる。これが女性起業家の利点の一つではないかとも思います。

北尾 東洋的な考え方では、男性は陽で、女性は陰です。男性は外向かって展開していくけれど、女性は内向いている。母なる大地というように、生きとし生けるものすべてを受け入れて育んでいく。だから企業としても熾烈な競争に打ち勝って売り上げを伸ばそうとは思わない。その証拠にSBIにはいろんな経営者が資金調達のために訪れてくるけれど、女性経営者はそれほど多くありません。比率でいったら一〇〇人に一人いるかどうか。先ほど、男性社長と女性社長の比率は二〇対一と言われたけれど、それと比べてもものすごく少ない。

横田 それに関しては中小企業リサーチセンターが面白い調査をしています。経営者が何を重視するかという意識調査ですが、男性の場合もとても重視するのが「売上高」で、次いで「利益」となっています。ところが女性経営者の場合、一位に来るのが「製品」です。つまり自分たちが提供する製品の品質を重視するということなのです。ただ、会社を設立して一〇年以上たつと、女性経営者でも売上高や利益を重視する傾向が出てきます。会社を長く続けていくと、きれいなことだけでは経営できないということもかまいません。

横田 あと、とことん窮地に追い込まれた時には女性のほうが強いとも言われていますね。一種の都市伝説のようなものですが、事業が行き詰まり借金がさんでどうしようもなくなつた時、男性経営者のほうが自殺率が高い。女性経営者は踏み倒しても生き延びようとする(笑)。

北尾 女性のほうが生命力は強いからね。

北尾 女性ならではのメリットもあると思います。営業する場合でも、男性だったらなかなか会ってもらえないけれど、女性だったら会えたりもするでしょう。それにすぐ覚えてもらえる。あとは交渉力も女性のほうがある。値切るのどう考えても女性のほうが得意です(笑)。

横田 かわいらしく、されどあつかましく、ですね(笑)。

パン粉になりたかった10代

北尾 横田さんはリクルート出身だとおっしゃいましたね。リクルートを飛び出して会社を立ち上げた人は数多いけれど、横田さんも最初から独立しようと思つてリクルートを選んだんですか。

横田 まったくそんな気はありませんでした。最初に申し上げたように、私は女とか男とか関係なく働ける職場としてリクルートを選んだんですが、退社して自分で会社をつくらうなんて考えたこともありませんでした。ところが入社して初めて、リクルートでは「四〇歳定年制」と言っているけれど、四〇歳までにはみなスパシアウトして辞めていく。私が入った段階では、まだ一人も六〇歳という本当の定年を迎えた人はいませんでした。だから自分もそのうち独立するのかな、と漠然とは思いました。



「本当は女性社長が話題になることがおかしい」と横田さん。

ただ本音を言えば、それでも会社を辞めたくはなかった。大きな会社のリソースは非常に魅力的です。独立して一人でやるよりも、はるかに大きな仕事ができる。だけど入社してしばらくした頃、父が病気になる、その介護のためにも、ある程度自分で時間をコントロールできる環境が必要になりました。さらに会社のリソースを使うためには偉くならなければなりません、それを待つことができなかった。そこで独立を決意しました。

北尾 おっしゃるように、会社のリソースを思うように使うためには偉くならなくてはなりません。だから僕は野村証券に入った時から、経営陣に入らなければ意味がないと思つてサラリーマン生活を送っていました。ただ、リクルートを辞めたあと、他の仕事は考えなかつたんですか。

いろいろな可能性があつたでしょう。横田 リクルート時代から女性社長を応援する仕事をしたいとは思つていました。私は二〇代の頃、「パン粉になりたい」と思つていたことがあります。人間一人ひとり個性があつて、考え方も違う。でもだからこそ、その個性を組み合わせることで新しい何かが生まれる。そして自分はその時につなぎのような役割を果たしたい。ずっとそう考へて生きてきました。女性社長のネットワークをつくるという仕事も、その延長線上にあるわけです。

北尾 リクルートを辞めた時には具体的なビジネスモデルがあつたわけではありません。そこで最初の一年間で女性社長二〇〇人に会うという目標を決め、いろんな伝手を使って片っ端から女性社長に会いました。実際にお会いできたのは二〇人にとまりましたが、この人

たちと会うことで、徐々にいまの仕事の形が見えてきたのです。北尾 これからの目標は何ですか。ネットワークを大きくしていくことも大切ですが、そのネットワークを使って何をやるかがこれからは問われてきますね。

少子高齢化を女性が救う

横田 この八月に「ウィーミンズ」というECサイトを立ち上げます。これは初めて外部資本と組んで始めるもので、女性社長の手がけた逸品を世界に発信しようというものです。単なるECサイトではなく、ツイッターやフェイスブックと連動して、ここで取り上げた商品を応援していただけるようになっていきます。

女性社長を応援しようという人はけっこういるんですが、これまではどういふ人が応援してくれているのかよくわからなかつた。これを可視

化しようというのも「ウィーミンズ」の狙いの一つです。北尾 いま日本は少子高齢化時代を迎え、労働人口がどんどん減っています。これを補うためにも、女性の活用がいま以上に必要になってくる。女性社長ももつと出てこなければならぬし、出てこれるように国としても支援しなければならぬ分野です。僕はよく言うんだけれど、企業は社会に貢献して、初めて永続的な発展がある。その意味からしても、横田さんのやっていることは社会的意義がある。

横田 先ほど言ったように、女性社長の会社というのは小さいところが多いです。それでも、そんな会社が一〇万社生まれれば、五〇万人の雇用が確保できるわけです。そのためにも女性社長同士が連携し、情報を共有していくことが大切だと信じています。

ゴルフダイジェスト本&DVD BOOK ゴルフの抜き方 飛ばし方

TVで話題沸騰! 高松志門流で開眼する!!

GOOLF 目からウロコ

GOOLF DVD

ゴルフダイジェスト社 〒105-8670 東京都港区新橋6-18-5